

ています。多くの人が地域の魅力を知り、その地域に対し、誇りと愛着を持つことで、地域と人が密接につながり、地方創生の実現につながると考えています。

市は、これまでも市の魅力や施策などの情報発信に取り組んできましたが、市の魅力を内外へアピールするという面では、十分ではなかったと感じています。人口減少対策については、短時間で成果を出すことは難しいところですが、国と同じく、継続を力にとの考えのもと、第1期での取り組みを継続しながら、さらに推し進めたいと考えています。

第2期総合戦略では、情報発信力を強化し、効果的なシティプロモーションを行うことで、多くの人が山武市の魅力を知り、山武市に誇りと愛着を持つてもらえるように取り組みます。

そうしていくことで、山武市に関わる人々を増やし、地方創生を実現していきたいと考えています。



議員 高尾正義 さんむ21

## オリンピック・パラリンピックについて

**問** オリンピック・パラリンピック(以下オリ・パラ)の成功を市の発展につなげようと、市はスリランカのホテル・パラとしていち早く手を挙げ、様々な事業に取り組んできました。オリ・パラが開催される、令和2年度の主な取り組みについて伺います。

**答** 総務部長 スリランカ選手団による事前キャンプの実施と、聖火リレーの対応を予定しています。

**問** 聖火リレーの現在の状況について伺います。

**答** 総務部長 県内を走る聖火リナーには、本市にゆかりのある2名が含まれています。また、聖火リレーの山武市区間については、7月2日の午後7時に蓮沼交流センターを出発し、概ね1時間後に、セレブレーション会場でもある蓮沼海浜公園第2駐車場に

到着予定です。各種団体の協力を得ながら、対応していきます。

**問** 聖火リレーに向けて、どのような取り組みを行うのか伺います。

**答** 総務部長 セレブレーションの冒頭に予定される、実行委員会のステージ・イベントへの、地元の子どもの参加等を、県と調整しています。

**問** 事前キャンプにおけるスリランカ選手団の受け入れは、オリンピックで30人、パラリンピックで20人を見込んでいるようですが、スリランカ選手の手選考状況について伺います。

**答** 総務部長 スリランカオリンピック委員会からの現時点での情報では、馬術競技の女子選手1名の出場が決定しています。また、陸上競技で1名、競泳では男女各1名の出場枠があり、その他、男子の柔道と女子の体操で、出場が有力な選手がいます。

また、パラリンピック種目では、陸上の男子やり投げのほか、アーチェリー、卓球、車椅子テニスなどの出場が見込まれます。

**問** 事前キャンプの受け入れの現在の状況について伺います。

**答** 総務部長 陸上競技や柔道、競泳は、市内の施設での利用を見込んでいます。また、パラ種目である、陸上競技のやり投げ、卓球、車椅子テニスは市内の施設の利用を、アーチェリー

は、千葉黎明高校の協力をお願いしています。宿泊先については、相手方の条件を満たす、市内の宿泊施設を見込んでいます。

**問** 事前キャンプでの、市民との交流について伺います。

**答** 総務部長 オリ・パラともに、選手団が来日した際のウエルカムセレモニーや、選手村への入村に合わせたセレモニーのほか、練習施設での交流や市内小・中学校を訪問しての交流活動などを検討しています。

**問** オリ・パラ関連の事業費について伺います。

**答** 総務部長 平成27年度から令和元年度までの5年間で、令和2年度の事業費の見込みの合計は、ソフト事業で約9930万円、ハード事業で4億5270万円です。国からの交付金の補助率は約45%です。

**問** スリランカ国とは、オリ・パラを契機として、交流をしてみました。オリ・パラの終了後についてどう考えているか伺います。

**答** 市長 県内でもいち早くホストタウンに手を挙げ、多くの方々の協力のもと、関係が築けたと思っています。オリ・パラの終了後も、その効果を市の発展につなげていけたらと思います。※オリ・パラに関する情報は、令和2年2月26日時点のものです。